

2006年(平成18年)10月13日(金曜日) 社 会 (24)

メセナ アワード2006

ペネッセと福武財団が大賞

四国新聞
10/13



直島福武美術館財団が運営する地中美術館

直島のアート活動評価

企業メセナ活動を表彰する「メセナ アワード2006」(社団法人企業メセナ協議会主催)の大賞に、直島でのアート活動が評価されたペネッセ・ホールディング(岡山市)と直島福武美術館財団(直島町)が輝いた。また、丸亀市の中津万象園の復元・維持に努める富士建設(三豊市)と中津万象園保勝会が庭園文化賞を受賞した。

同賞は一九九一年にス・企業・活動を選定。タートし、今年で十六回。ペネッセは九三年、直島全体を舞台とした「ス・目、全国百十五社・団 島にホテルと美術館の複体から百四十二件の応募 合施設ペネッセハウスのあり、専門家をつくる をオープン。家庭や神社審査委員会が七件の受賞 をアートとして再生する

中津万象園を修復 富士建設に 庭園文化賞

には地中美術館を閉館。地域に根ざした継続的なアート活動が高く評価された。

富士建設は七〇年、荒廃していた大名庭園・中津万象園を買い取り、十二年をかけて復元。丸亀美術館を併設して市を代表する観光スポットに整備し、地域文化の発展に貢献した。

十二日、東京都内であった発表会見の席上、直島・地中美術館の秋元雄史館長は「ペネッセが始めた芸術による島づくりは現在、住民や町、県に広がり市民一体となって活動が盛んになっていく。賞を糧に、次の直島の一步を作っていく」と受賞の喜びを話した。

富士建設の真鍋有紀子取締役は「生き物である庭園の手入れは大変だが、これまでの活動がメセナとして認められてうれしい」と述べた。

真鍋氏は、九四年にタタノが審査員特別賞(イースター島モアイ像修復活動、カトリックがメセナ地域賞(四国民家博物館の運営)、九八年にはペネッセがメセナ国際賞(直島文化村ペネッセハウスの運営)を受賞している。

贈呈式は十二月一日、東京・青山で行われる。

「家プロジェクト」や「島全体を舞台とした」ス・タンダード展などを開催したほか、二〇〇四年

● 平成 18 年、中津万象園の修復・維持保全活動により『メセナアワード 2006』庭園文化賞を受賞／中津万象園

先代より続く「建築は文化なり」という信念のもと、1970 年より 12 年の歳月を掛けて、全社一丸となって、廃荒していた中津万象園を修復。その後、地域のカルチャーコミュニティグラウンドとするべく、丸亀美術館を併設。現在まで、その維持保全につとめています。その活動が認められ、2006 年には、(財)企業メセナ協議会主催／文化庁後援による、メセナアワード大賞部門「庭園文化賞」を受賞しました。

